

一般社団法人 日本医学会連合

<2022 年度>

事業報告書

決算報告書

監査報告書

自 2022 年 4月1日

至 2023 年 3月31日

# 事業報告書

## I. 組織の状況

### 1. 会員数

142 学会（2023 年 3 月 31 日現在）

### 2. 2022 年度 新規入会状況

1 学会

日本国際保健医療学会

## II. 各種会議

### 1. 社員総会

- 2021 年度 事業報告及び決算について承認した。
- 2022 年度 事業計画及び予算について了承した。
- 2022 年度 会費徴収について了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。

### 2. 理事会

- 2021 年度 事業報告（案）及び決算（案）について承認した。
- 2022 年度 会費徴収方法について確認した。
- 2023 年度 事業計画及び予算について承認した。
- 2022 年度 社員総会の議題について了承した。
- 加盟学会連絡協議会の議事について了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。
- 領域横断的連携活動事業の採択について承認した。
- 随時、企画運営会議、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関の報告内容を確認した。
- アカデミアとしての社会的役割について検討し、以下の対応を行った。
  - 声明等
    - フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言を掲載した。
    - 「遺伝情報・ゲノム情報による不当な差別や社会的不利益の防止」についての共同声明記者会見を行った。
    - 「入学時の診療科選定枠に対する声明」を発出した。
    - 「日本学術会議の独立性維持を求める」声明を発出した。
  - 委員会等
    - 社会部会若手リトリート実行委員会を社会部会若手リトリート・フォーラム実行委員会に改めた。

- ・ 医学系研究における個人情報の保護と利活用のあり方検討委員会を設置した。
- ・ 選挙管理委員会を設置した。
- 日本学術会議との連携
  - ・ 学術フォーラム「コロナ禍を共に生きる#7 新型コロナウイルス感染症のレジストリ研究の現状と今後の方向性 医療情報の収集と活用による対策について」(2022年5月28日)
  - ・ 学術フォーラム「ヒトゲノム編集と着床前遺伝学的検査について考えるー新しい医療技術の利用のあり方」(2022年11月26日)

### 3. 企画運営会議

- 2021年度事業報告(案)及び決算(案)について了承した。
- 2022年度会費徴収方法について確認した。
- 2023年度事業計画(案)及び予算(案)について了承した。
- 2022年度理事会の議題について検討した。
- 2022年度社員総会の議題について検討した。
- 2022年度加盟学会連絡協議会の議事について了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。
- 日本医学会創立120周年記念事業として、記念誌の発刊、式典・シンポジウム(2022年4月2日)をオンライン開催した。
- 領域横断的連携活動事業(Team事業)の公募を開始した。
- 個人情報保護委員会に「個人情報保護法改正に伴う臨床研究の課題について(意見書)」を提出し、意見交換会を行った。
- 日本専門医機構と意見交換をした。
- 「日本学術会議の独立性維持を求める」声明について検討した。
- 随時、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関からの打診内容の検討及び報告内容の確認を行った。
- 以下の依頼について了承した。
  - 後援依頼：WHO World No Tobacco Day 記念イベント 2022 in Tokyo (たばこ問題首都圏協議会)
  - 後援依頼：安全な麻酔のための国際会議 2024 (日本麻酔科学会)
  - 後援依頼：第5回アジア太平洋公正ネットワークミーティング・2022年度全国公正研究推進会議(公正研究推進協会)
  - 周知依頼：AMED 令和4年度予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業(ヘルスケア社会実装基盤整備事業)
- 以下の推薦依頼について検討し、推薦を行った。
  - 日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員会 委員(南学 正臣)
  - 日本医療安全調査機構 理事(門田 守人)
  - 日本専門医機構 理事(渡辺 毅、今野 弘之)

- 厚生労働省医薬品等行政評価・監視委員会 委員（渡邊 裕司）
- 以下の内容について確認した。
  - 厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）「新型コロナウイルス感染症による他疾患を含めた医療・医学に与えた影響の解明に向けた研究—今後の新興感染症発生時の対策の観点から—」（研究代表者：門田 守人）
  - 厚生労働行政推進調査事業補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）献体による効果的医療技術教育システムの普及促進に関する研究（研究分担者：森 正樹）

#### 4. 各委員会報告

##### (1) 総務委員会

- 2021 年度事業報告を作成した。
- 委員会体制の見直しについて検討した。
  - 委員会等規則の見直し
  - 委員会に関する取り決めの検討
- あり方委員会・総務委員会 役員選挙見直しに関するワーキンググループにおいて役員選挙見直しについて検討した。
- 選挙管理委員会委員を選出する学会の抽選を行った。
- 日本医学会連合の周知に関して広報委員会と連携して進めていくことを確認した。
- 日本医学会創立 120 周年記念事業にかかわる業務をサポートした。

##### (2) 財務委員会

- 2021 年度決算報告書を作成した。
- 2022 年度会費の納入状況を確認した。
- 2023 年度年度予算案を作成した。
- 領域横断的連携事業（TEAM 事業）支援費用の運用方針を検討した。代表学会から提出される支援費用の中間報告、1 年度目終了時、事業成果報告について財務委員会で確認する。

##### (3) あり方委員会

- あり方委員会・総務委員会 役員選挙見直しに関するワーキンググループを 4 回（2022 年 8 月 17 日、9 月 29 日、10 月 31 日、2023 年 2 月 15 日）開催し、役員選挙について意見交換を行った。2023 年度役員選挙の方針として、選挙管理委員会の設置、役員候補者への内諾の実施を提案した。部会内のダイバーシティ推進については 2024 年度社員総会で諮ることができるよう検討していく。
- 2022 年度加盟学会連絡協議会を開催した（参加数：200）。
  - テーマ：「医学会におけるダイバーシティの取り組みと課題」

- 日時：2023年2月10日（金曜日）15時から17時23分まで
- 会場：コンgresクエア日本橋3階ホールC,D+オンライン（ハイブリッド開催）
- プログラム：
  - 司会
    - 日本医学会連合 副会長 あり方委員会委員長 門脇 孝
  - 1. 開会の挨拶
    - 副会長／あり方委員会 委員長 門脇 孝
  - 2. 日本医学会創立120周年を終えて
    - 会長 門田 守人
  - 3. 多様な背景を持つ会員の学術活動への参画に関する調査結果の報告
    - ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進委員会 委員長／業務執行理事 名越 澄子
  - 4. 各学会の取り組み
    - ①基礎部会 座長：副会長 飯野 正光
      - ・日本病理学会 常任理事 大橋 健一
      - ・日本癌学会 副理事長 村上 善則
    - ②社会部会 座長：副会長 磯 博康
      - ・日本産業衛生学会 ダイバーシティ推進委員会 委員長 西 賢一郎
      - ・日本公衆衛生学会 業務執行理事 田宮菜奈子
    - ③臨床内科部会 座長：副会長 門脇 孝
      - ・日本循環器学会 代表理事 平田 健一
      - ・日本小児科学会 理事 石崎 優子
    - ④臨床外科部会 座長：理事 齊藤 光江
      - ・日本消化器外科学会 副理事長 調 憲
      - ・日本産科婦人科学会 代表理事 木村 正
  - 5. 総合討論
    - 司会：D&I推進委員会 委員長／業務執行理事 名越 澄子
    - 業務執行理事 荻田 香苗
  - 6. 閉会の挨拶
    - 業務執行理事 荻田 香苗

#### (4) 広報委員会

- 公式ウェブサイトにかかわる会務を行った。
  - お知らせ16件、プレスリリース3件、活動報告6件を発信した。
  - 英語化の準備を進めた。
  - 公式ウェブサイトの構成、掲載情報の整備について検討した。現在のウェブサイトでは調整が難しいため、リニューアルする方向で進めていく。
- 入学時の診療科選定枠に対する声明手交に伴う広報活動を行った。

(5) 専門医等人材育成検討委員会

- 入学時の診療科選定枠に対する日本医学会連合の声明を発出した。
- 入学時の診療科選定枠に対する声明を文部科学大臣宛に手交（永岡桂子文部科学大臣宛、伊藤孝江文部科学大臣政務官に門田守人会長、磯博康副会長より提出）

(6) 労働環境検討委員会

- 委員会を3回（2022年4月28日、7月28日、2023年2月16日）開催した。
- テーマ1「医育機関の働き方改革と研究力の向上」について、シンポジウム「医育機関の働き方改革と研究力の向上」（2023年1月14日、17:00~19:00、オンライン）を開催し、42学会から合計141名の参加を得て、5名の演者の講演と意見交換を行った。
- テーマ2「医師の働き方改革制度が女性医師のステップアップを阻害しないための課題整理」の検討のため、ダイバーシティ&インクルージョン推進委員会との合同ワーキンググループを設置し、3回の会合を開催し（2022年11月14日、2023年1月18日、2023年4月13日）、メッセージの発出に向けて意見交換をした。
- テーマ3「医師の働き方改革のための医療供給体制の見直し」について意見交換し、2023年度中にシンポジウムを開催することで準備を進めることとした。

(7) ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進委員会

- 「男女共同参画など多様な背景を持つ会員の学術活動への参画と今後の支援方策に関する調査報告書」を作成し、校正を行った。また、2022年度加盟学会連絡協議会「医学会におけるダイバーシティの取り組みと課題」において、調査結果を報告した。
- 労働環境検討委員会と合同ワーキンググループを設置し、医師の働き方改革制度が女性医師の活躍推進（ステップアップ）を阻害しないための課題を整理し、メッセージ発出に向けて意見交換をした。

(8) 教育・研究推進委員会

- 領域横断的連携活動事業（TEAM事業）

2022年度の事業として次の3件を採択した。フレイル・ロコモ対策会議（日本老年医学会）、領域横断的な肥満症対策の推進に向けたワーキンググループ活動（日本肥満学会）、動脈硬化性疾患（ASCVD）予防および治療を目標とし、メタボリックシンドローム・脂質異常症に対して日本食パターンを基にした生活習慣改善の周知普及（日本動脈硬化学会）。

また、2023年度の事業として、次の3件を採択した。多学会連携による慢性疾患患者の拳児希望を叶えるための横断的指針作成（日本産科婦人科学会）、加齢性難聴の啓発に基づく健康寿命延伸事業（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会）、脳心血管病予防に関するリスク管理チャートの改訂と発行後の周知普及（日本動脈硬化学会）。

領域横断的連携事業（TEAM 事業）事務手続きの方針を策定した。

- 加盟学会連携フォーラム共催事業

次の4学会からの申請を採択した。日本臨床検査医学会、日本生化学会、日本生理学会、日本衛生学会。

- 研究者育成に関する検討作業部会

2023年1月14日開催のシンポジウム「医育機関の働き方改革と研究力の向上」において、座長の市原学先生より「研究者育成に関する調査」の報告を行った。

- ゲノム編集技術の医学応用に関する検討作業部会

検討作業部会メンバーを再編成し、ゲノム編集技術の医学における有用性について紹介する目的で、体細胞のゲノム編集による新たな治療法に関する Website の原稿を準備した。

- 基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会

2023年3月5、6日、「ホメオスタシスとその破綻」をテーマに第2回日本医学会連合 Rising Star リトリートを淡路夢舞台国際会議場で開催した。58名の参加者があり、特別講1題、口頭発表25題、ポスター発表26題が行われた。

- 社会部会若手リトリート・フォーラム実行委員会

第2回社会部会若手リトリート2022を、2022年8月25日と26日に「社会医学の課題と解決に向けた連携のあり方：未来につながるキャリア」をテーマに、クロス・ウェーブ梅田で開催した。社会部会16学会、臨床内科部会、臨床外科部会から合計57名の参加があり、門田会長の挨拶、基調講演、学会紹介、個人研究発表・グループワーク、ワークショップ、全体総括の流れで、活発な議論、意見交換が行われた。また、社会医学若手フォーラムを昼時間にWeb開催し（2022年5月27日、6月6日、6月20日、12月22日、2023年1月6日、1月26日）、様々な分野の演者の発表と質疑応答が行われた。

#### (9) 研究倫理委員会

1. 個人情報保護法の改正に伴う臨床研究課題を検討するため「医学系研究における個人情報保護と利活用のあり方検討委員会」を設置した。
  2. 学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する加盟学会共通指針を作成し、公開した。
  3. 2023年度の事業計画として、臨床研究の有益性向上プロジェクトに関して討議した。
- 第7回研究倫理教育研修会における講演内容を上記1、2、3とし、2、3については内容を検討した。

#### (10) Japan CDC（仮称）創設に関する委員会（第二次）

2021年1月の提言発出以降、コロナ対策に関する国、自治体、学術団体等の諸活動に関して、進んだ点、未解決な課題を委員会（Japan CDC working group の世話人等もオブザーバーで参加）で議論、整理し、「オールハザード対処のアカデミア組織が有す

べき機能と他機関・団体との連携・協働」に関する新たな提言案を作成した（2022年6月27日、10月12日）。その後、企画運営会議で、最近の政府の動向に鑑み現時点での発出を見送ることについて議論となり、2023年2月27日の委員会で企画運営委員会での議論の趣旨説明と意見交換を行った。その結果、委員会で提言の発出は見送りの合意がなされた。今後、国の動向をみながら、提言の内容や発出のタイミングを検討していく。

(11) 健康医療分野におけるビッグデータに関する委員会

- 2022年度は、委員会を3回（2022年9月27日、2023年1月5日、3月29日）開催した。
- 委員会では、以下の検討テーマに関する講演を拝聴し意見交換をした。
  1. 日本の健康医療データ活用の課題について
  2. 日本の政府の方針
  3. 海外のデータ活用事例
  4. 学会が主導する疾患別、モダリティ別のデータベース
  5. DXのあるべき姿
  6. 医療ビッグデータ関連の法/ガイドライン等の日本の課題
- これらにより「健康医療分野におけるビッグデータに関する提言（案）」を検討した。

(12) 診療ガイドライン検討委員会

- 診療ガイドラインと保険収載の関係性に関する提言を公開した（2022年12月1日版）。
- COVID-19 expert opinion working group により、以下を公開した。
  - 日本医学会連合 COVID-19 expert opinion 第4版（2023年3月8日版）
  - Minds COVID-19 に関する情報提供
- オンライン診療に関する検討会議により、以下を公開した。
  - 日本医学会連合 オンライン診療による継続診療可能な疾患／病態 修正版（2022年4月11日）
  - 日本医学会連合 オンライン診療の初診に関する提言 修正版（2022年11月24日版）
- 本邦でオンライン診療が一向に普及しない理由を明らかにするため、その適正な普及を妨げている要因の調査を行っている。

貸借対照表  
(2023年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	171,381,215	155,884,329	15,496,886
前払費用	479,226	598,848	△ 119,622
未収入金	317,830	0	317,830
流動資産合計	172,178,271	156,483,177	15,695,094
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
受取研究費資金	0	192,293,851	△ 192,293,851
特定資産計	0	192,293,851	△ 192,293,851
(2) その他の固定資産			
工具器具備品	327,304	327,304	
減価償却累計額	△ 327,303	1	0
預託金	0	40,000	△ 40,000
その他の固定資産計	1	40,001	△ 40,000
固定資産合計	1	192,333,852	△ 192,333,851
資 産 合 計	172,178,272	348,817,029	△ 176,638,757
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,745,683	25,859,539	△ 13,113,856
預り金	981,850	426,508	555,342
流動負債合計	13,727,533	26,286,047	△ 12,558,514
2. 固定負債			
引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	13,727,533	26,286,047	△ 12,558,514
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	167,766,161	△ 167,766,161
(うち特定資産への充当額)	(0)	(167,766,161)	(167,766,161)
2. 一般正味財産	158,450,739	154,764,821	3,685,918
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	158,450,739	322,530,982	△ 164,080,243
負債及び正味財産合計	172,178,272	348,817,029	△ 176,638,757

2022年度年度損益計算書  
(正味財産増減計算書)

一般会計

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	60,257,750	59,192,250	1,065,500
受取補助金	18,040,000	0	18,040,000
受取助成金	279,000	0	279,000
雑収益	17,939	12,922	5,017
受取利息	2,905	2,769	136
雑収益	15,034	10,153	4,881
経常収益計	78,594,689	59,205,172	19,389,517
(2) 経常費用			
事業費	42,968,542	18,980,451	23,988,091
旅費交通費	1,730,191	1,589,700	140,491
諸謝金	615,363	209,959	405,404
助成費	7,700,000	1,700,000	6,000,000
賃借料	770,605	20,625	749,980
会議費	6,870	7,792	△ 922
通信運搬費	959,945	412,936	547,009
消耗品費	16,497	91,190	△ 74,693
印刷製本費	264,935	80,652	184,283
図書・文献購入費	88,659	0	88,659
人件費	8,077,896	10,326,018	△ 2,248,122
委託費	22,580,721	4,490,814	18,089,907
支払手数料	55,660	50,765	4,895
租税公課	101,200	0	101,200
雑費(予備費)	0	0	0
管理費	31,940,229	22,344,564	9,595,665
旅費交通費	1,077,244	1,237,280	△ 160,036
諸謝金	2,652,837	2,004,463	648,374
保険料	21,600	21,600	0
賃借料	3,369,440	3,180,138	189,302
会議費	27,021	35,803	△ 8,782
通信運搬費	2,269,579	3,504,922	△ 1,235,343
消耗品費	946,510	1,621,423	△ 674,913
消耗什器備品費	904,689	474,089	430,600
リース料	747,343	1,205,892	△ 458,549
修繕費	769,763	455,400	314,363
印刷製本費	63,800	0	63,800
図書・文献購入費	71,836	50,160	21,676
人件費	8,077,895	10,372,176	△ 2,294,281
教育訓練費	121,000	37,400	83,600
委託費	5,531,563	8,925,723	△ 3,394,160
諸会費	4,900,000	4,400,000	500,000
支払手数料	316,270	382,800	△ 66,530
租税公課	70,000	154,150	△ 84,150
雑費(予備費)	0	0	0
厚労科研ICT間接経費	0	△ 706,036	706,036
厚労科研コロナウイルス間接経費	1,839	△ 15,012,819	15,014,658
経常費用計	74,908,771	41,325,015	33,583,756
当期経常増減額	3,685,918	17,880,157	△ 14,194,239
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△ 5,000,000	△ 313,370	△ 4,686,630
当期一般正味財産増減額	△ 1,314,082	17,566,787	△ 18,880,869
一般正味財産期首残高	154,764,821	137,198,034	17,566,787
一般正味財産期末残高	153,450,739	154,764,821	△ 1,314,082
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 167,766,161	100,223,119	△ 267,989,280
指定正味財産期首残高	167,766,161	67,543,042	100,223,119
指定正味財産期末残高	0	167,766,161	△ 167,766,161
III 正味財産期末残高	153,450,739	322,530,982	△ 169,080,243

特別会計（第31回日本医学会総会 2023 東京 分科会/加盟学会展示費）

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益	0	0	0
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用	0	0	
経常費用計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	5,000,000	0	5,000,000
当期一般正味財産増減額	5,000,000	0	5,000,000
一般正味財産期首残高	0		0
一般正味財産期末残高	5,000,000	0	5,000,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,000,000	0	5,000,000

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
 ・固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。  
 工具器具備品…定率法
- (2) 消費税等の会計処理  
 ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
受取研究費資金	192,293,851	156,890,000	324,656,161	0
合計	192,293,851	156,890,000	324,656,161	0

### 3. 担保に供している資産

該当なし

### 4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

貸倒引当金の計上をしていない

### 5. 保証債務等の偶発債務

該当なし

### 6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益

該当なし

### 7. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)	厚生労働省	192,293,851	0	192,293,851	0	指定正味財産
令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)	厚生労働省	0	156,890,000	156,890,000	0	指定正味財産
助成金						
淡路夢舞台国際会議場活用助成金制度	株式会社夢舞台	0	279,000	279,000	0	一般正味財産

### 8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

### 9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

### 10. 重要な後発事象

該当なし

## 附属明細書

1. 特定資産の明細  
財務諸表の注記に記載のため省略
2. 引当金の明細  
該当なし

# 監査報告書

2023年6月9日

一般社団法人日本医学会連合  
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 北 潔

監事 秋葉 澄伯

監事 神庭 重信

監事 里見 進

2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

## 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上